

---

---

# 株式会社あらた

## 2018年3月期決算説明会

# 2018年3月期ハイライト

## ○当期予想数値を上回る業績

**売上高：前年比 4.0%増**

- ・ドラッグストア業態の売上増加
- ・全カテゴリーにおける売上増加

**経常利益：前年比 20.4%増**

- ・商品単価の上昇
- ・経費率の改善
- ・売上総利益率の改善

## ○増収・増益・過去最高を達成

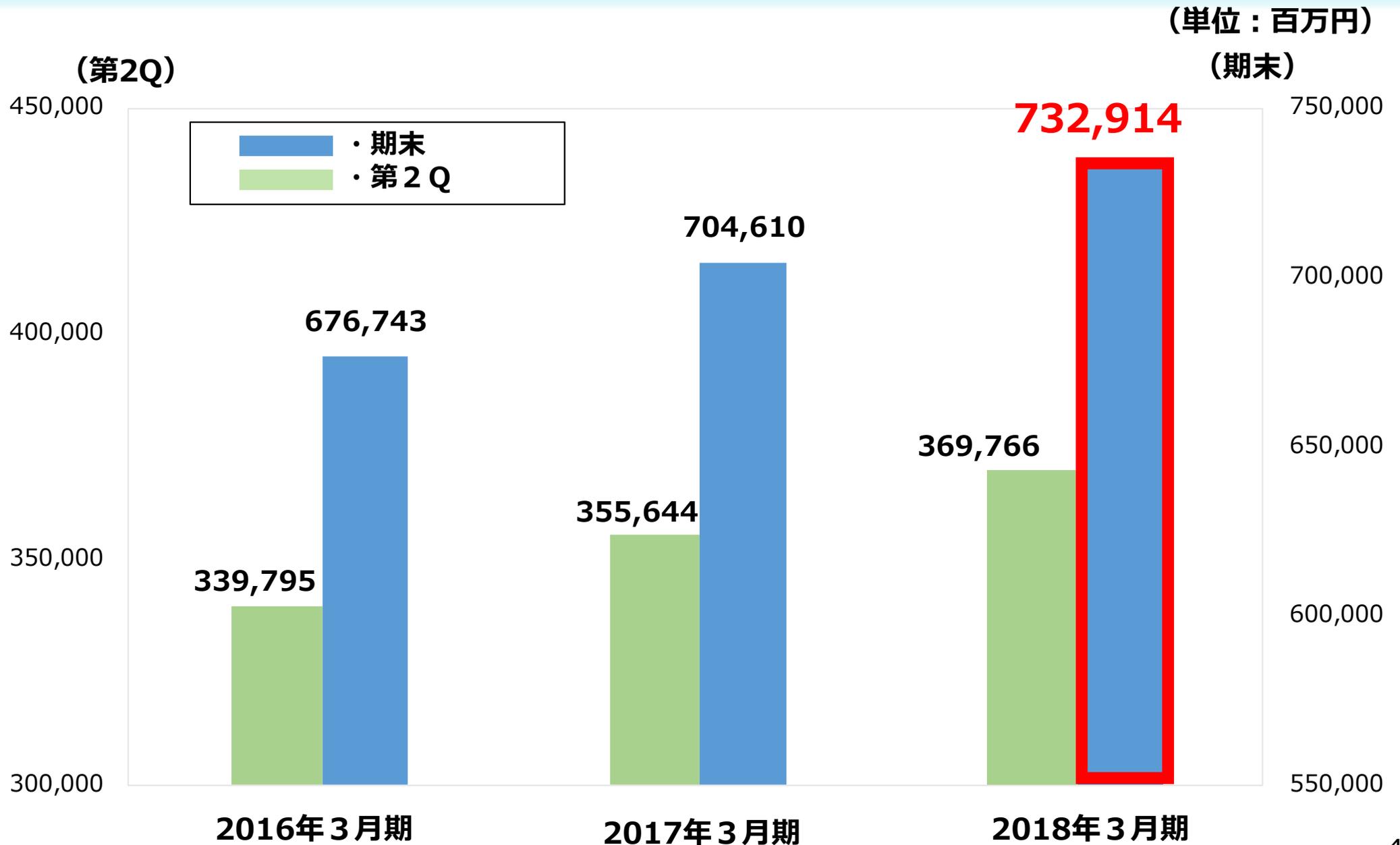
売上高	⇒ 732,914百万円	<b>過去最高</b>
営業利益	⇒ 8,857百万円	<b>過去最高</b>
経常利益	⇒ 9,439百万円	<b>過去最高</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	⇒ 6,361百万円	<b>過去最高</b>

# 連結損益計算書

(単位：百万円)

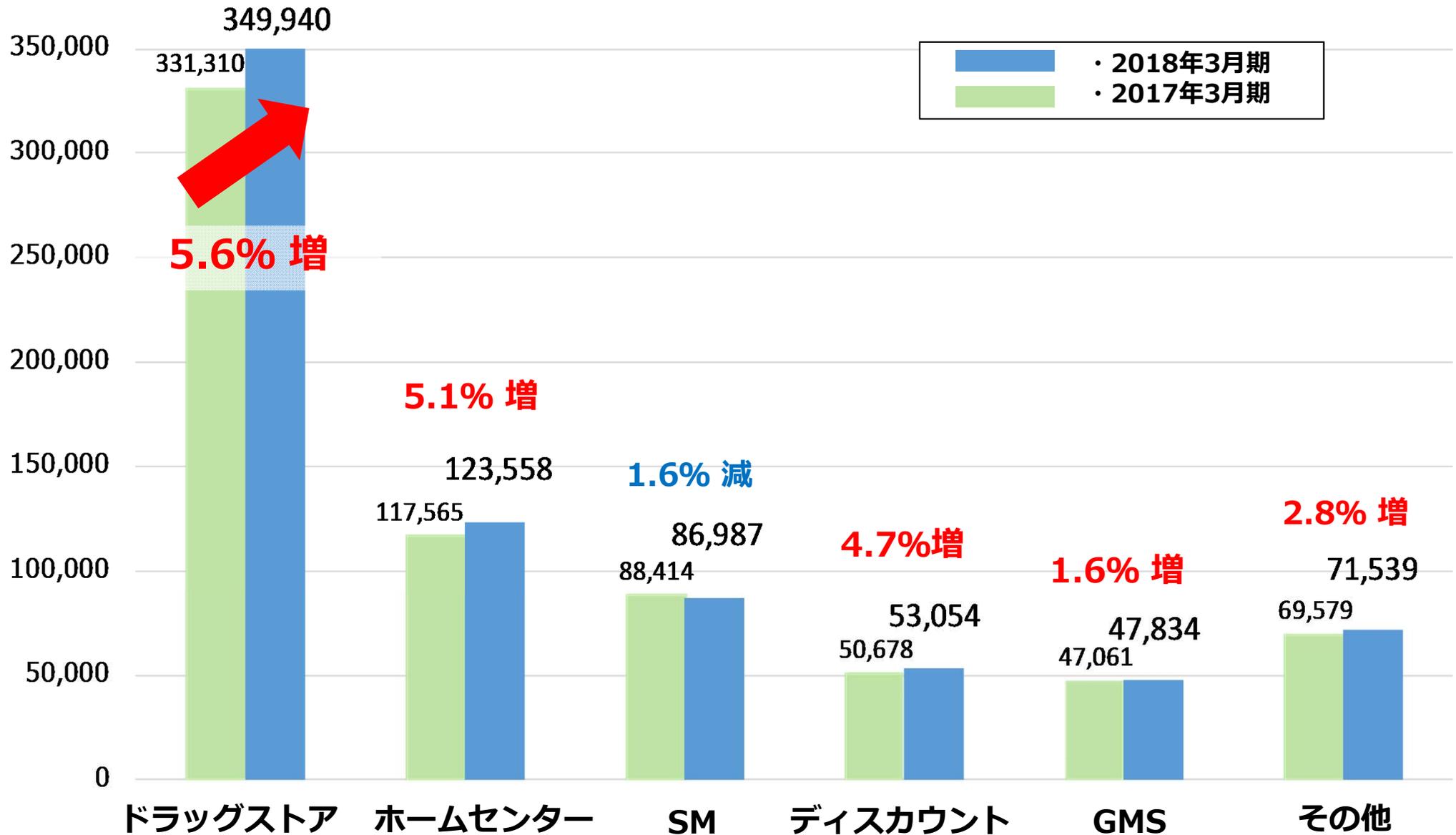
	2017年3月期	2018年3月期実績		2018年3月期予想	
		金額	前期比 (%)	金額	予想実績比 (%)
売上高	704,610	732,914	104.0	724,000	101.2
売上総利益	73,068	76,475	104.6	—	—
販管費	65,683	67,618	102.8	—	—
営業利益	7,384	8,857	119.9	8,700	101.8
経常利益	7,842	9,439	120.4	9,000	104.9
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	4,863	6,361	130.8	5,800	109.7

# 売上高推移グラフ



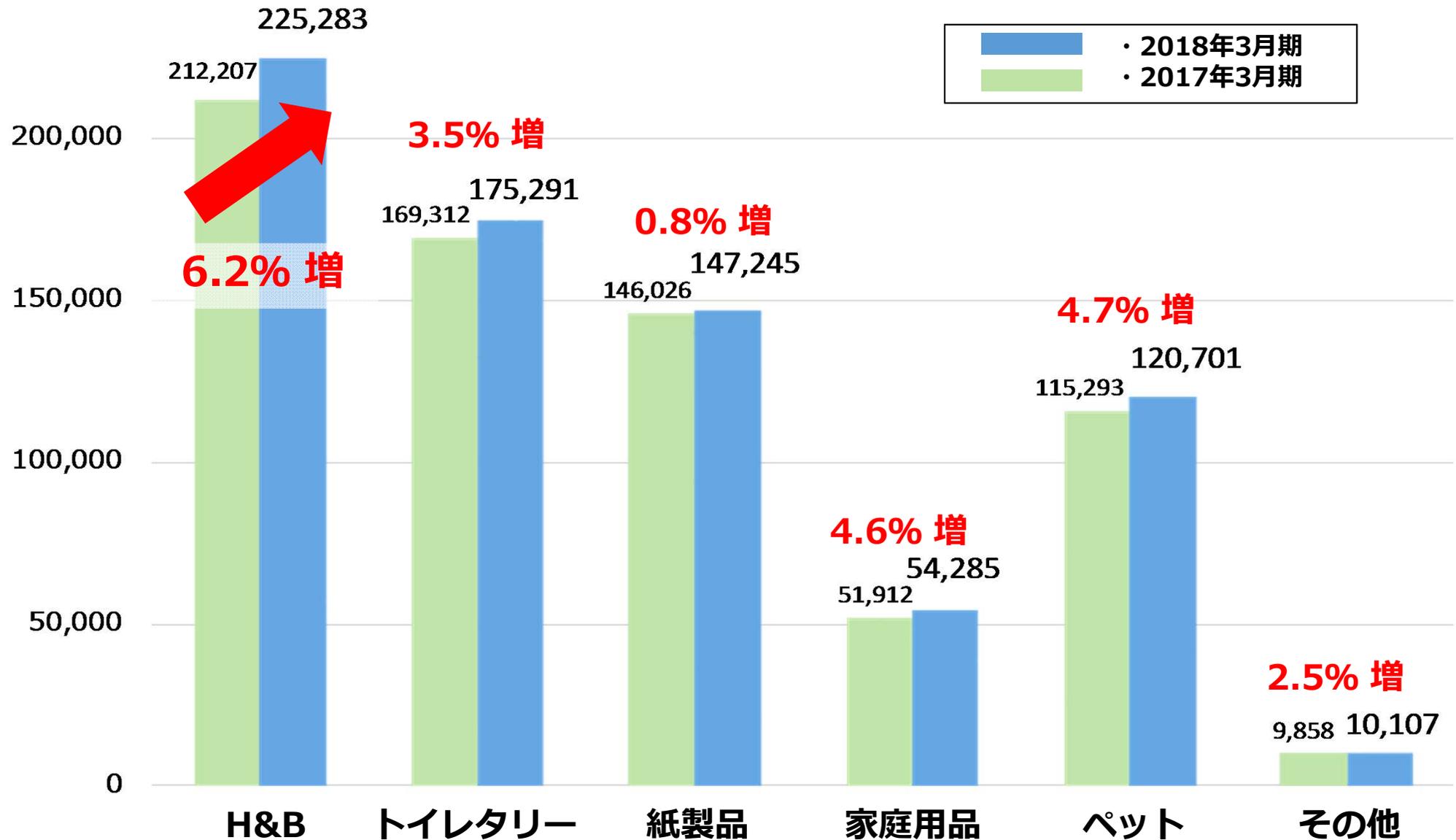
# 売上高増加要因：業態別売上高（前期比較）

（単位：百万円）



# 売上高増加要因：カテゴリー別売上高（前期比較）

（単位：百万円）



# 經常利益增加要因：売上総利益改善

經常利益 前期比**1,597**百万円 増加

○活動基準原価計算・単価UPによる売上総利益改善

売上総利益額 前期73,068百万円 → 今期76,475百万円  
増加額：3,407百万円

売上総利益率 前期10.37% → 今期10.43%  
上昇：0.06%



經常利益 前期7,842百万円 → 今期9,439百万円  
増加額：**1,597**百万円

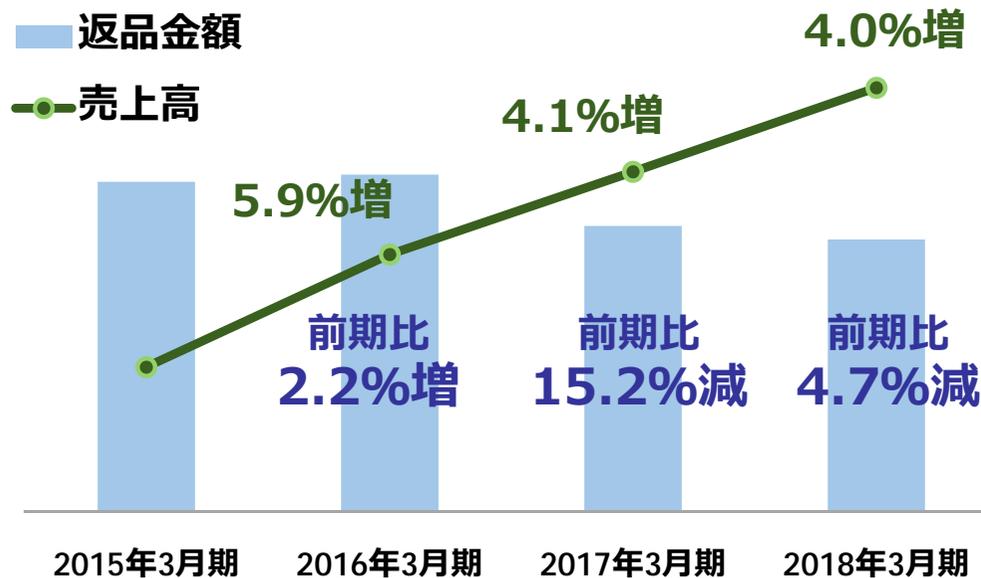
# 經常利益増加要因：単価UP

カテゴリー別単価 対前年 増減比率		
	要因	2018年3月期
H&B	高単価ヘアケア 高付加価値オーラルケア	2.8% 
トイレタリー	洗剤・柔軟剤の大容量品 高濃度の殺虫剤	3.0% 
紙製品		0% 
家庭用品	ラップ・ホイルの長尺	2.1% 
ペット	猫フード（おやつ）	0.3% 

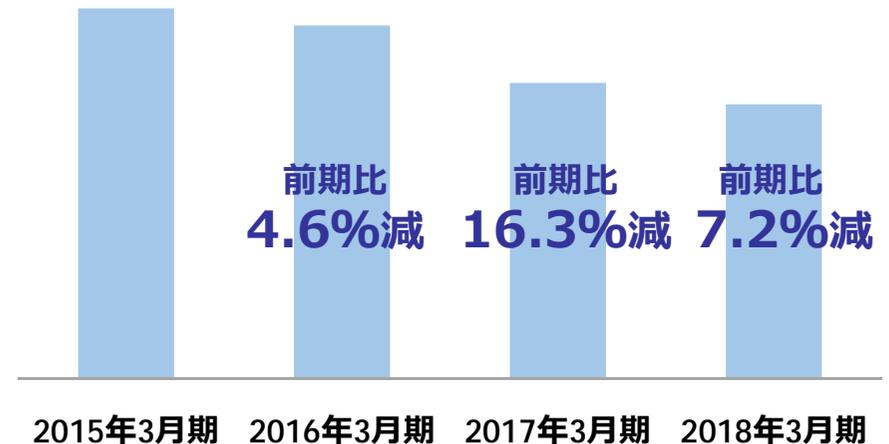
# 經常利益增加要因：返品削減

## 返品削減の取り組みによるコスト減

### 返品金額・売上高 推移



### 返品数量 推移



**返品コストの削減 = 経費削減**

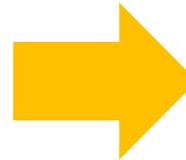
# 連結貸借対照表

2017年3月期 (単位：百万円)

<b>流動資産</b> 153,455	<b>流動負債</b> 124,003
<b>68.8%</b>	<b>55.6%</b>
受取手形 及び売掛金 82,212	支払手形 及び買掛金 76,579
在庫 29,556	短期借入金 27,270
	<b>固定負債</b> 39,357
	社債 <b>17.7%</b> 7,552
	長期借入金 17,747
<b>固定資産</b> 69,518	<b>純資産</b> 59,613
<b>31.2%</b>	<b>26.7%</b>
<b>総資産</b> 222,974	

2018年3月期 (単位：百万円)

<b>流動資産</b> 172,149	<b>流動負債</b> 145,831
<b>70.4%</b>	<b>59.7%</b>
受取手形 及び売掛金 97,321	支払手形 及び買掛金 89,112
在庫 29,997	短期借入金 31,869
	<b>固定負債</b> 27,077
	社債 <b>11.1%</b> 424
	長期借入金 11,347
<b>固定資産</b> 72,231	<b>純資産</b> 71,472
<b>29.6%</b>	<b>29.2%</b>
<b>総資産</b> 244,381	



受取手形及び売掛金：前期比118%  
有利子負債：前期比83.0%となり89億円削減

支払手形及び買掛金：前期比116%  
収益増加：純資産は前期比118億円増加

自己資本比率29.2% (前期比+2.5%) ROE：9.7% (前期比+1.3%) DER：0.61 (前期比-0.27)

---

---

# 中期経営計画 (2018年3月期～2020年3月期)

# 中期経営計画（2018年3月期～2020年3月期）

## あらたファーストステージ

収益向上・業務改革・統合統一を主軸とした次世代型卸のための経営基盤の強化

## あらたセカンドステージ（2018年3月期～2020年3月期）

### 3つの基本戦略 初年度の取り組み

#### ①成長戦略を描き続ける

カテゴリー戦略

H&B、ハウスホールド  
家庭用品の強化

#### ②未来への布石を打つ

事業開発本部による  
海外事業・EC事業の拡大

「addgood」の展開

#### ③経営基盤の更なる強化

九州南センター稼動  
コミットメントライン  
契約締結

CSRの取り組み

**2018年3月期 増収・増益・過去最高を達成**

# 中期経営計画（2018年3月期～2020年3月期）

## あらたセカンドステージ（2018年3月期～2020年3月期）

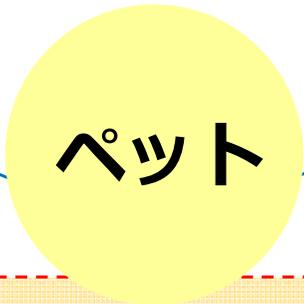
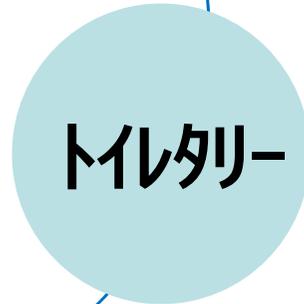
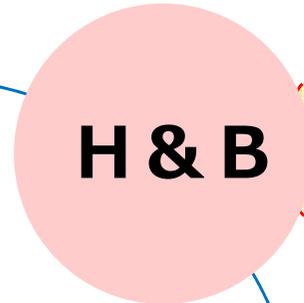
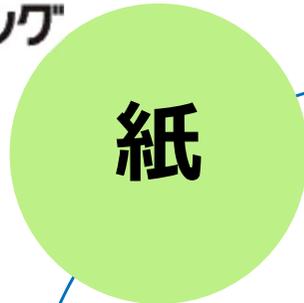
### 中期経営計画 最終年度（2020年3月期） 目標数値

売上高	経常利益	当期純利益	R O E
7,600億円	100億円	60億円	9%台

**上方修正**

売上高	経常利益	当期純利益	R O E
<b>7,800億円</b>	<b>105億円</b>	<b>68億円</b>	<b>9%台</b>

# ①成長戦略：カテゴリー強化

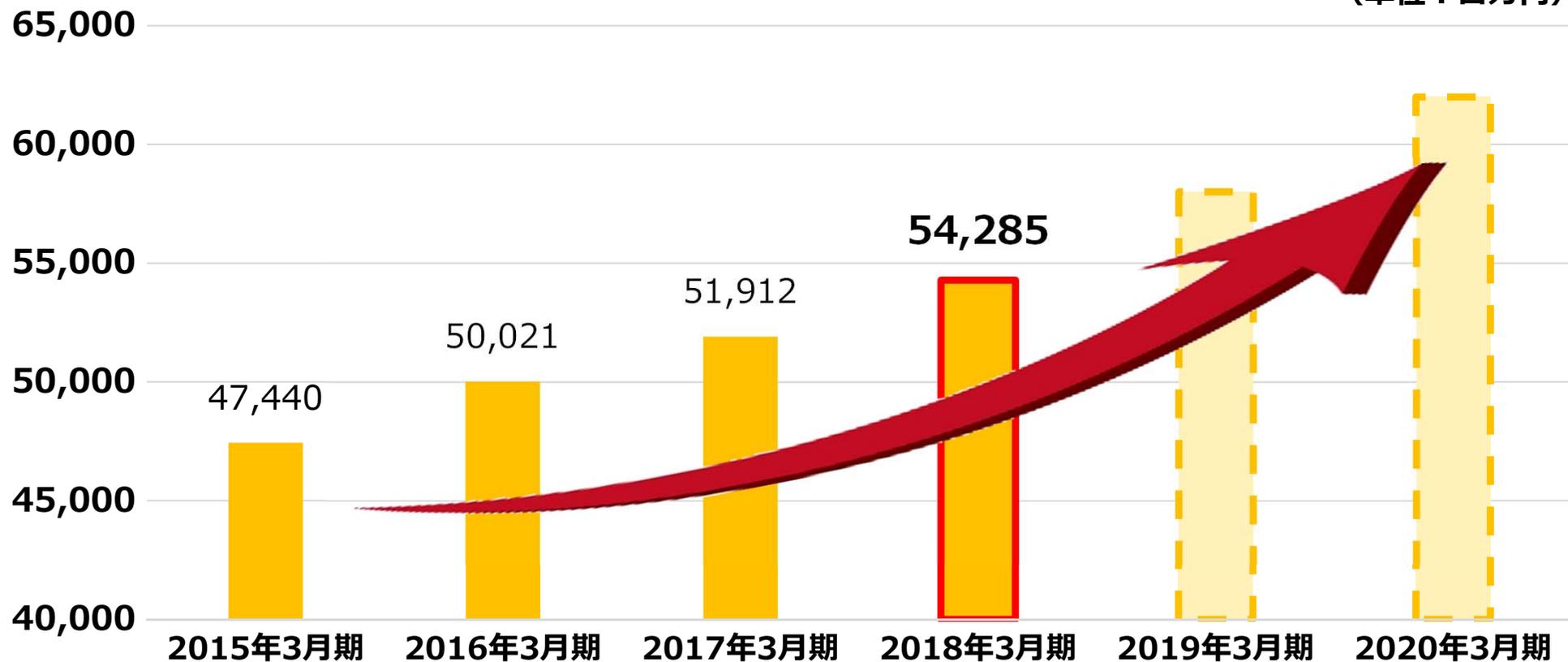


# ①成長戦略：家庭用品強化

## 家庭用品のさらなる販売拡大

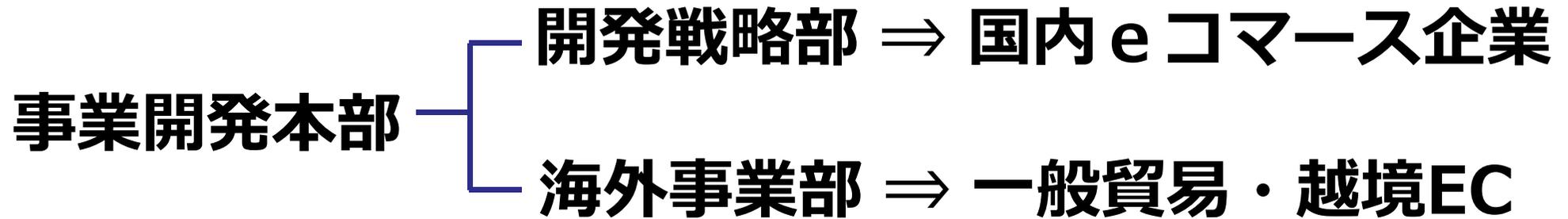
家庭用品 売上高推移

(単位：百万円)

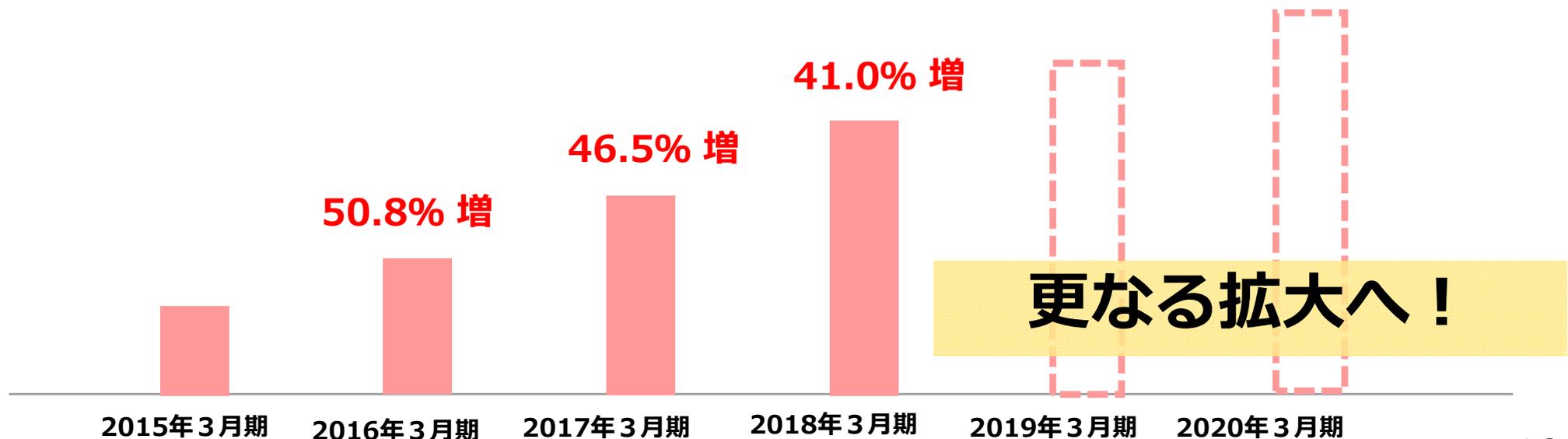


## ②未来への布石：海外事業・EC事業

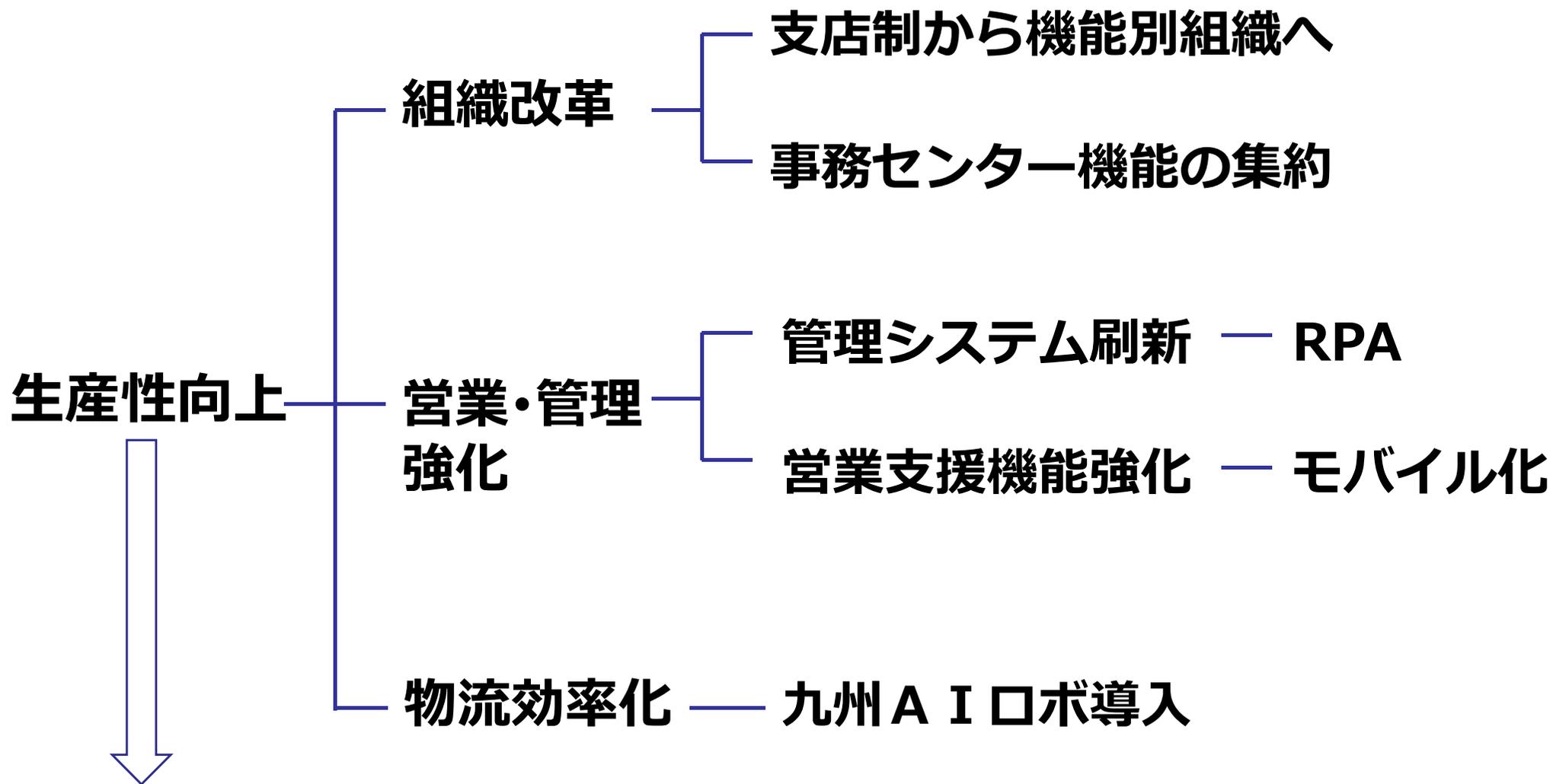
2017年4月「事業開発本部」を設置し販売強化



事業開発本部 売上高の伸び率



### ③ 経営基盤強化



**深刻化する「人手不足」対策の一環としての取り組み**

### ③ 経営基盤強化：九州南センター

2018年6月4日稼動予定



延床面積：16,766㎡  
予想処理能力：150億円  
住所：鹿児島市七ツ島2丁目1番13

当社初 AI搭載「デパレタイズロボット」導入

### ③経営基盤強化：定型業務の自動化（RPA）

## 繰り返し行う定型業務の自動化による業務生産性の向上

#### ■人事データの管理

手  
作  
業

1ヶ月に全社で  
計1,400時間

RPA活用

自  
動  
化

6倍の速度で自動処理  
1,100時間 短縮

#### ■商品情報の管理

手  
作  
業

営業1,000人の  
事務作業

RPA活用

自  
動  
化

データの自動作成  
営業活動の時間創出

2018年7月より業務改革本部と連携し、  
当社としての適用業務を検討、下期より稼動を予定。

# ③経営基盤強化：財務基盤の強化

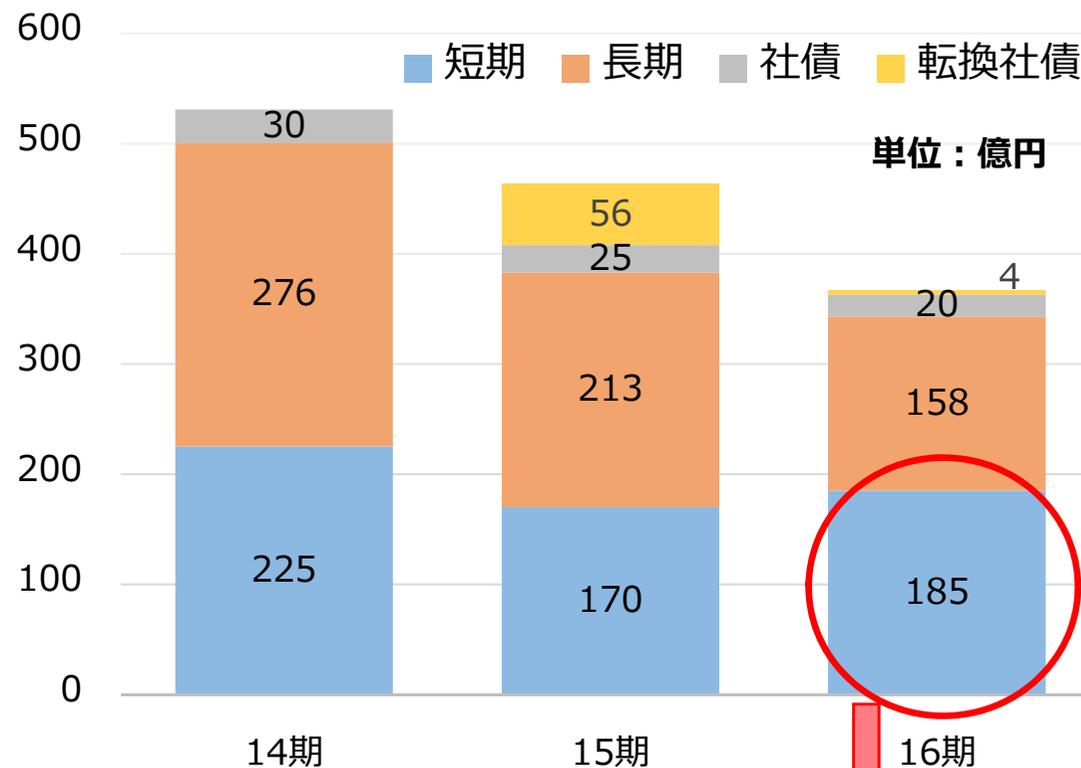
## コミットメントライン契約の締結

【目的】安定的な調達枠の確保。  
ローコストでフレキシビリティ  
の高い資金管理を実現。

借入極度額：500億円

参加行：8行

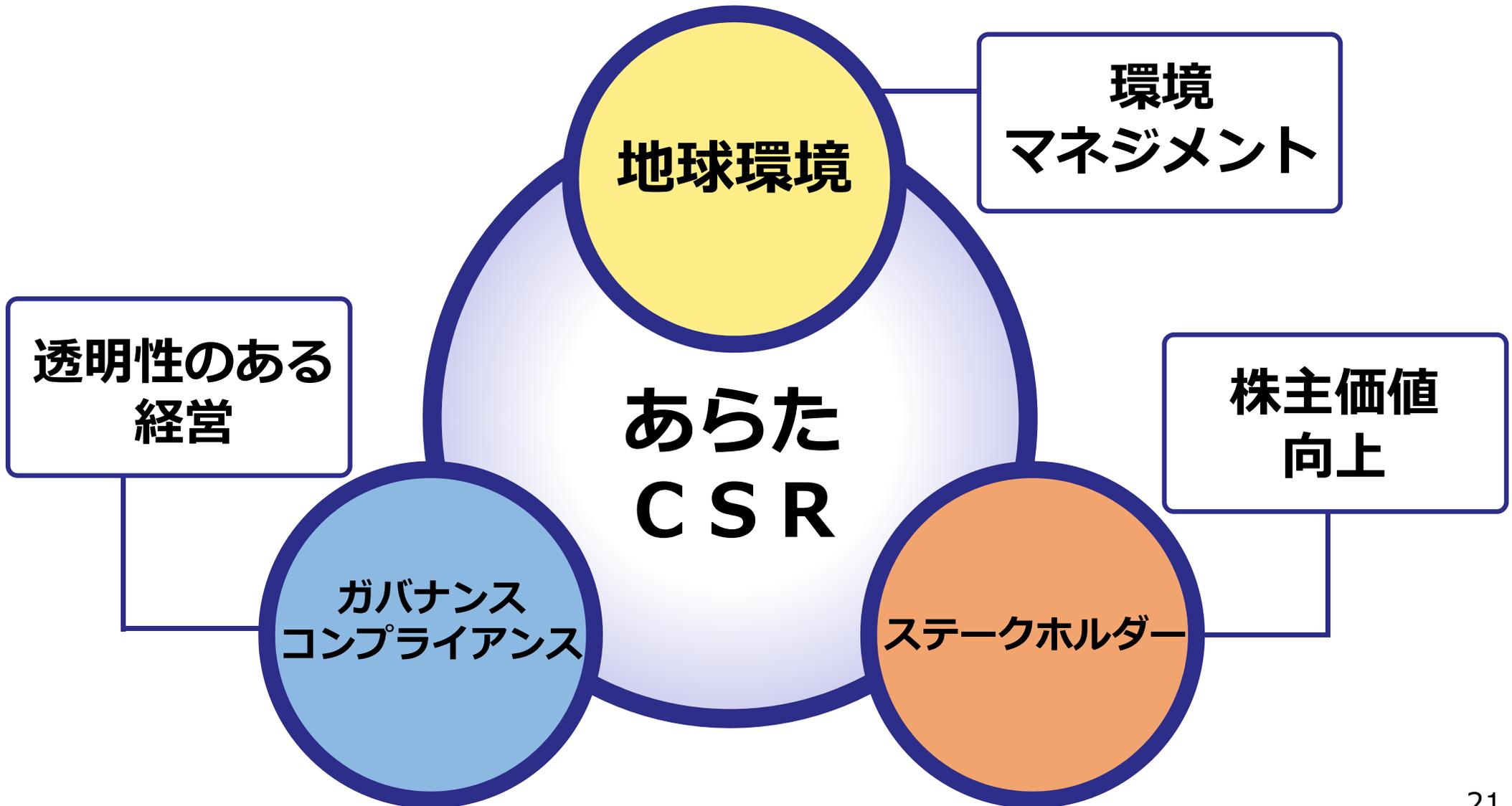
資金調達構造の推移



恒常的な短期運転資金のほか、季節性資金・売上急増時の  
仕入資金などをコミットメントライン枠でカバー

### ③ 経営基盤強化：CSRの取り組み

2018年4月に「CSR本部」を設置



# ③経営基盤強化：CSRの取り組み（3R）

## 環境省の推進する「3R」活動に賛同

あらたとして「Reduce」につながる商品の  
販促を小売業様、メーカー様と共同実施。

※「3R」とは、Reduce、Reuse、Recycleの3つの英語の頭文字を表し、3つのRに取り組むことでごみを少なくし、地球の限りある資源を有効に繰り返し使う社会（=循環型社会）を目指す活動。



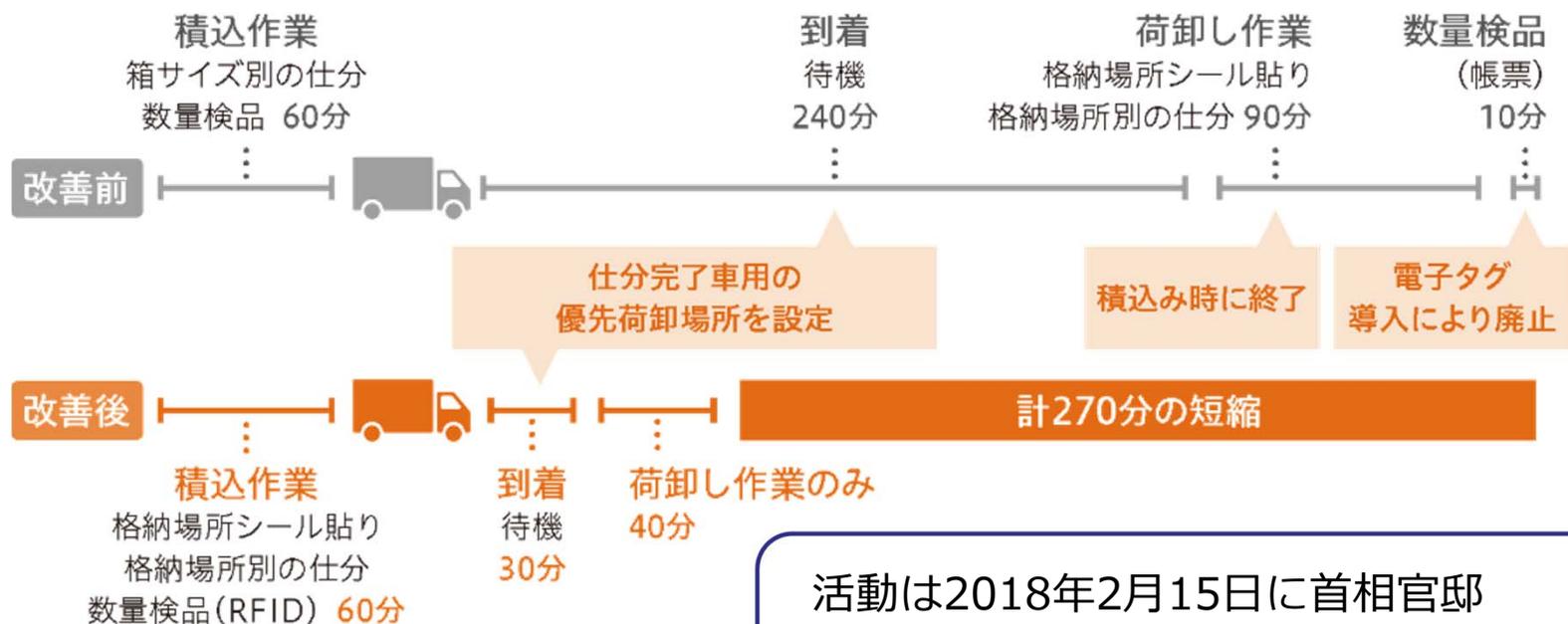
2017年より「選ぼう！3Rキャンペーン」というタイトルで環境省と連携し、全国の小売業様にて対象商品の販売キャンペーンを実施。今後も取り組みを継続させるべく、2018年3月7日に環境省の伊藤副大臣とメーカー様との間で調印式が開催され、当社からは会長の畑中が参加。



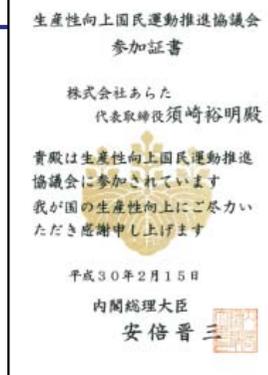
# ③経営基盤強化：CSRの取り組み（物流）

## トラック納品時の待機削減の取り組み

物流拠点でのドライバーの長時間労働が社会的な問題に。  
物流業者との協働での「入荷合理化システム」により、待機時間短縮へ。



活動は2018年2月15日に首相官邸での「生産性向上国民運動推進協議会」において発表。今後物流現場に広がる可能性のある、有用な取り組みとなる。



---

---

**I Rに関するお問合せアドレス**  
**kouhou-honsya@arata-gr.jp**

## 予測に関する注意事項

---

---

- **本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。**
- **ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。**